

大和市長の図書館と複合施設シリウスを見学

実施日 2017年10月25日(水) 参加者10名

昨今、公共図書館の図書館運営の変化に伴う問題が話題になっていることから、友の会では、27年度に海老名市を見学し、29年度は大和市の公共図書館を見学しました。

大和市は民間事業者運営に委託する指定管理者制度を取り入れ、2016年11月に、図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内子ども広場などの複合施設「大和市文化創造拠点シリウス」が開館しました。「シリウス」を市の受託で運営するのは、図書館流通センターなどの6社で構成する企業グループ指定管理者「やまとみらい」です。2017年7月には施設利用来場者200万人を祝う式典が行われました。

外から出入りできる1・2階のスペースには、飲食店舗(酒類も供給するカフェ)やコンビニエンスストア、歯科、以前からあった神社などが入居しています。

図書館スペースは、大和市が「健康都市」を目指すことから4階に「健康都市図書館」、3階に「子ども図書館」、5階に「調べて学ぶ図書館」となっています。2階の2時間100円で利用できる「市民交流ラウンジ」と6階の無料で利用できる「市民スペースぶらっと大和」は飲料や食べ物の持ち込みも可で、本は施設内ならどこでも貸し出し手続きを経ず閲覧でき、スタバの利用者は購入した飲料を飲みながら館内のどこでも図書館の本を読むことができます。

(見学した感想)

- ・大和駅からほど良い近さに建つ複合施設「シリウス」は、大きく美しく圧倒されるような存在だった。
- ・広々として素晴らしいの一言。余りにも広すぎて、どこにどんな本があるのかすぐにはわからなかった。

■平成30年度定期総会(20周年記念)報告

日時 4月11日(水)10時～ 座間市立図書館 講座室

会員 24名 総会出席 22名

新役員 遠藤春海(会長) 太田光二(会計監査)
斎藤洋子(事務局) 平川晶子(事務局)
佐藤えり子(会計) 大槻浩(ワンスモア会計)



■ボランティアのおさそい

《会員募集と一日体験の受付》

簡単なリサイクル作業など友の会の活動を体験することもできます。まずは図書館にご連絡ください。毎週水曜日の午前中に活動しています。

(但し、館内整理のある第1週水曜日を除きます)

平成29年度の活動(10月～3月)

- | | | |
|-----|---------|--|
| 29年 | 10月 | 友の会だより第49号発行 |
| | 10/18 | 第8回座間市図書館を使った調べる学習コンクール応募作品の審査に協力 |
| | 10/25 | 大和市長図書館見学会 |
| | 11/1 | 立野台小学校図書館見学会案内の協力 |
| | 11/15 | クリスマス飾り作り |
| | 11/25 | 第8回座間市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式で副賞としてワンスモアブック積立金より図書8冊を寄贈 |
| | 12/1・26 | 館内のクリスマス飾りと片づけの協力 |
| 29年 | 3/3・4 | ワンスモアブックフェア開催 |
| | 3/14 | 友の会会計監査 |
| | 3/21 | ワンスモアブック会計監査 |

上記の活動以外に

- *毎月第1金曜日の館内整理日に協力
- *毎週水曜日午前中は定期的に活動
- *友の会主催の図書館活用講座開催



表紙イラスト：関川麻里さん

表紙題字：故萩本成美さん

◆活動に興味のある方は、下記の連絡先にお問い合わせください。

連絡先

- ◇座間図書館ボランティア友の会
会長 遠藤 Tel.046(256)2264
- ◇座間市立図書館
Tel.046(255)1211

編集・発行

座間図書館ボランティア友の会事務局

2018(平成30)年5月

座間図書館

ボランティア

友の会
だより

第50号



座間図書館ボランティア友の会



座間図書館ボランティア友の会20周年に寄せて

座間図書館ボランティア友の会会長 遠藤春海

座間図書館ボランティア友の会は1998(平成10)年に発足し、今年6月26日に20周年を迎えます。

20年を振り返ると、座間市立図書館の館内整理や行事等の協力、市民と図書館をつなげる本のリサイクル事業や会員同士が生涯学習を学びあう図書館活用講座、見学会など様々な活動を毎年楽しみながら仲良く続けてまいりました。

会が市と取り交わしたりサイクル要綱に基づき市民に無償及び有償でリサイクル本を提供する活動は、20年間で304,699冊となりました。また、古本市(ワンスモアブックスフェア)の収益金で青少年や児童向け図書を購入し座間市立図書館に寄贈する事業は、平成29年度迄に411冊(969,165円)を寄贈いたしました。これらの活動の成果は、図書館のご支援と会員一人一人の地道な努力の継続によるものと深く感謝いたします。

ここに、「座間図書館ボランティア友の会20周年に寄せて」としていただいたお言葉を、感謝をこめて掲載いたします。

座間市立図書館館長 金井雄二

座間図書館ボランティア友の会の20周年、本当におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

長年にわたって友の会が大きく発展してこられましたこと、また図書館の活動を支え続けていただきましたことに心より敬意を表します。

友の会の大きな実績は、まず「ワンスモアブックスフェア」ではないでしょうか。本が最後の最後まで、読者を持ち続ける手助けをするということは、本当に貴重な仕事だと感じています。本というのは、必ず書いた著者がいます。またその本を作った方々がいます。廃棄にしてしまえば、すべては無に帰することになりますが、新たな読者を獲得することは、その本を作った人々までも生かすことにつながっていくのです。

その他には、「図書館活用講座」の開催、各図書館等の見学会、調べる学習コンクールの審査のご協力、また、「友の会」だよりの発行、特別整理期間や、各種図書館行事でのお手伝い等々、様々な活動を行ってきています。図書館においても、これらの活動はなくてはならない存在になっております。

20周年という長きにわたった活動の継続は、遠藤会長様をはじめ、会員の皆様の団結力のあらわれであるとも感じております。

この数年間で、図書館の状況は大きく変化し、新しい対応が迫られております。これからも、時の流れを見据えつつ、座間市の図書館の発展のため、また地域の文化継承のための基盤づくりにご活躍頂きたいと存じます。

最後になりましたが、創立20周年を祝し、貴会の益々のご隆盛をご祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

<会員から>

◆本好きの私には図書館と友の会が最も好きな場所です。17年前に入会したのは、「図書館「miniミニ展」」で「美術展コレクション」を行った時に、「資料を大切にする人は自分の人生も大切にすること」と感想を書いてくれた大矢かつさん(前会長)に出会ったからです。古本市担当の時には、宣伝を広めて売り上げを1.5倍に増やしました。活用講座で私の好きな「宮沢賢治」や「中島みゆき」を発表出来たのはうれしかった。(山沢勲)

◆友の会には発足当時から入会させていただいています。図書館に関わるお手伝いができてうれしく思いました。古本市や図書館の見学、館内整理では自分ではまず手に取らない本との出会いもありました。現在仕事に就いている事もあり、年2回の古本市のお手伝いしか参加できませんが、微力ながらこれからも続けていきたいと思えます。(吉山真知子)

◆ふり返れば大矢先生と共に少人数で立ち上げられた友の会。あとを引きつがれたお人たちは奉仕の精神豊かなお方ばかりでつづいて来ています。図書館活用講座で国会図書館へ。職員の力添えで奥の奥まで見学。個人では行けません。また自然に親しむ秋の講座では御岳山に登り紅葉の美しさに自然の美を受けて。昼食は作家浅田次郎邸(食事処)で。これまたその道のパイオニア前もって調べて下さる努力。年二回古本市に向かっての活動、力が入ります。廃棄となる本が再び読んでいただける本もさぞや嬉しかろうと。本から学ぶ本でつながる、図書館友の会です。(高鍋茂子)

◆会発足起案者のお話しによれば、除籍本の古本市によるリサイクルは図書館側は反対であったとの事。20周年を迎えた今、図書館と利用者とのより良い関係作りを目指す協労の精神と価値観を共有する奉仕活動にまで導いた起案者の熱意と会長の牽引ご努力に頭が下がる思いであります。会の趣旨も理解せずに入会した一会員ですが、健康を第一に仲間と楽しく活動し、精力的に活動牽引する遠藤会長の一助となり得れば幸いです。(大槻浩)

◆私は友の会に入会して10年程になります。図書館で不要となった本をリサイクルする事に興味を持ったのがきっかけでした。始めてみると古本市は盛況で本が好きな私にはとてもうれしい事でした。友の会の活動は他にも図書館の活用法を学んだり、市外の図書館の見学(しかも書庫に入れる!)したり、自然とふれあったり、なかなか多彩で個人ではやらない事を見たり聞いたり楽しんできたと思います。

◆21年前に命がけの大病をし、退院後のリハビリで毎日谷戸山を歩いていた時に、図書館玄関の張り紙を見てボランティアの個人登録をし、その後友の会が発足しました。社会復帰の第一歩として大好きな活字の世界に身をおけたことは、とても幸運でした。活動や皆さんとの交流を通して、貴重な情報や快い刺激をたくさん頂きました。「調べる学習」では、会長の遠藤さんに基礎から教えていただいて自分でも驚くような展開となり、図書館が益々好きになりました。今後も、できる範囲で細く長く友の会の活動にかかわらせていただきたいと思います。

ワンスモアブックスフェアの収益で図書館に本を寄贈しました



(1) 第8回座間市図書館を使った調べる学習コンクールの副賞として、ワンスモアブックス積立金から下記の図書8冊を購入し、平成29年11月25日の表彰式で図書館長賞受賞者に贈呈しました。

*科学おもしろクイズ図鑑(4冊)	3,304円
*正しいコピーのすすめ(4冊)	3,340円

(2) 20周年記念として、ワンスモアブックス積立金から下記の児童図書34冊を購入し、平成30年4月11日の20周年記念定期総会で座間市立図書館に寄贈しました。

*ほんとうに危ないスポーツ脳振盪	1,458円
*未来のために学ぶ四大公害病	3,449円
*気をつけろ!猛毒生物大図鑑(全3巻)	8,164円
*池上彰と考える戦争の現代史(全4巻)	11,404円
その他合計	81,577円

(3) 29年度の寄贈本購入額(1)+(2) 88,221円



ワンスモアブックスフェア結果報告

3月の古本市2日間(販売時間10時~13時)の来訪者は約850人(うち購入者564名)でした。

期間	平成30年3月3日(土)・4日(日)
場所	座間市立図書館 2階講座室
主催	座間図書館ボランティア友の会

準備したリサイクル本	7,846冊
販売冊数	5,661冊
販売金額(1冊10円)	56,610円
経費(幟旗用ポール・コピー等)	1,996円
ワンスモアブックス積立金へ	54,614円
29年度寄贈本購入額(11月・4月)	88,221円

◆29年度ワンスモアブックス積立金残高135,207円は30年度に繰り越しました